

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

2. 学校概要

学校名 豊中市立桜井谷小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒560-0055 大阪府豊中市柴原町 3-11-1

E-mail : _____

Website : http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/sakuraid/

児童生徒数：男子 343名 女子 294名 合計 635名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

地球規模の問題に対する国連システムの理解
 持続発展教育 (ESD) (国際理解 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動
 生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 その他 ()
 そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

・ 2年 世界の遊び

アジアを中心に5か国の方を同時に招き、国の簡単な紹介を聞いた後、講
教えていただいた、その国の簡単な遊びを一緒に行った。

・ 5年 農業体験学習（米づくり）

校内の約100㎡の水田を使い、米づくりを行った。とうみ、千歯こきな
どの伝統的な用具も使用するとともに、わら細工なども行った。また、世界
の米についても学び、フィリピンやスリランカなどの講師も招き、日本とは
異なった米の使い方も学び、一緒に料理も作り、試食した。

・ 6年 日本の伝統文化を知ろう

華道・茶道・剣道など、日本の伝統的な文化について、講師を招いて学ぶ
とともに、外国語活動（英語）と関連付けながら、英語で日本の伝統文化に
ついて出来る範囲で話せるようにした。

・ 全校 世界の事情

JICAの方を招き、パネル展示を2週間ほど行うとともにアフリカを中心と
した子どもたちの生活の様子や食糧事情などを学んだ。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（

）

今年度の活動結果について（下記から選択して下さい。）

大変効果的な活動ができ、大変満足。 効果的な活動ができ、満足。

効果的な活動ができず、やや不満が残る。

どのように活動を学校のプログラムに盛り込んだか記載願います。

校区内に大阪大学豊中キャンパスがあり、外国人の研究生等の子どもたちが
数名本校に入学しており、市内唯一の日本語指導教員が配置されるなど、もと
もと国際教育が盛んであった。大阪大学の留学生ともコネクションがあり、来
校していただいている。

今までの活動の中で、教育の質の向上に効果のあった活動がありましたら、記
載願います。

・ 2年 世界の遊び

・ 5年 農業体験学習（米づくり）

・ 6年 日本の伝統文化を知ろう

・ 全校 世界の事情

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。

紙媒体の参考資料（新聞、出版物など）

CD-ROM

写真

その他（

）

